

# 環境大臣賞 受賞

## 平成24年度地域環境保全功労者表彰

地域社会の貢献に更なる精進を！

会長 藤田秀憲

「我が国固有の文化的資産である古都奈良の歴史的風土の保全、再生に向け多大の成果を上げている団体」として、奈良県の推薦を受けて、環境省から私たちの長年の活動に対して「地域環境保全に関し顕著な功績があった」と評価をいただき、環境大臣から「奈良・人と自然の会」が「地域環境保全功労者表彰（団体）」を受けることになりました。

会にとって非常に名誉なことで、会員の皆さま方とともに今回の受賞を喜びたいと思います。

同時に受賞を契機に、ますます「自然環境の保全」や「自然環境保全教育の実践」を通じて、地域社会の貢献に精進してまいりたいと思います。



### 功績内容について（要旨）

歴史的風土の保全のために特に重要な区域である特別保存地区（平城宮跡地区の古都買入地約12.5haについて、荒廃しつつある里山の間伐や植樹等を行いまた放置竹林、笹藪と化した田畑などの里地への復元などに精力的に取り組んでいる。

整備に当たっては、歴史的風土との調

和に配慮するとともに、事前に行う生き物調査の結果に基づいて、その土地に相応しい生態系への誘導を目指しており、毎週木曜日の活動日には毎回30～40人が集まり、近隣住宅地住民が活動を見て参加を希望する人も多いという。地元小学生の環境教育に協力するなど、地域住民との交流も積極的に行われている。

昭和51年度に「環境月間」行事の一環として、「環境保全功労者表彰」の制度を創設（環境庁局部長推薦）。そして、「地域環境保全功労者表彰」は、環境省創立10周年記念として、昭和56年度に創設（都道府県知事、政令指定都市市長推薦）されました。

それまでの経緯は、昭和47年6月、ストックホルムにおいて国連人間環境会議が開催され、我が国の提唱により国連では6月5日を「世界環境デー」と設定。

昭和48年度から「環境週間」、平成3年度からは「環境月間」として全国的に普及啓発活動を展開されました。

表彰式は、6月29日（金）に東京都千代田区隼町の「グランドワーク半蔵門」において挙行されます。藤田会長が、会を代表して出席されます。

本年度の受賞者は、103件（37名、66団体）で、「地域環境保全功労者表彰」を受賞するのは、45件（18名、27団体）です。

